

平成28年度事業報告について

大分県金融広報委員会では、平成28年度事業計画に基づき、関係機関と連携しながら、県民の金融に関する知識・判断力（「金融リテラシー」）の向上に資するよう、「金融経済講演会」（中津市との共催）や「市民講座」を開催したほか、金銭教育研究校への教育実践面での支援や「金融教育公開授業」（金融広報中央委員会との共催）、「巣立ち教育出前講座」への講師派遣など、学校段階での金融教育の更なる浸透に向けた活動に取り組んだ。

具体的な取組みは次のとおり。

（1）県・市町村との連携による金融経済知識の普及に向けた取組み

① 県主催事業（「アイネス消費者教育フェスタ」）のワークショップに出展

初の試みとして、大分県主催の「アイネス消費者教育フェスタ」のワークショップに「夏休み！にちぎん大分見学会」を出展。

開催日	行事内容	参加者等	参加者
7月28日	ワークショップ 「夏休み！にちぎん大分見学会」	小学校4～6年生の 児童および保護者	約20名
7月27～ 29日	ワークショップ 「自分だけの貯金箱を作ってみよう！」	小学生および保護者	約170名

② 市町村との共催による「大規模講演会」の継続開催

中津市との共催により「中津市立小幡記念図書館」において開催。地元新聞への開催広告、中津市の市報やホームページへの掲載等により参加者を募集。約300名が参加。

開催日	テーマ	講師
2月9日	菊地流 魅力的人生のススメ 消費者問題の実態	弁護士 菊地 幸夫氏

③ 市町村主催の「消費者講座」等への講師派遣

大分市市民活動・消費生活センター（ライフパル）主催の「大分市消費生活教室」に、金融広報アドバイザーを講師として派遣（73回、参加者1,959名）。

④ 「消費生活展」(大分市)への出展

事業名	開催日	開催場所	事業内容	参加者
第39回みんなの消費生活展(大分市、大分市消費者団体連絡協議会)	10月14・15日	大分市(カレリア竹町ドーム広場)	クイズ「きんゆう道場」実施 活動紹介パネル展示 各種刊行物配布 講師派遣に関する照会対応 貯金箱作り	約260名

(2) 県教育委員会等との連携による学校段階での金融・金銭教育の普及・定着に向けた取組み

① 学校での講師派遣による「出前講座」等の開催

イ. 小学校

学校名等	開催日	参加者
杵築市立立石小学校	7月14日	4～5年生児童(9名)
中津市消費生活市民講座	8月25日	3～6年生とその保護者(30名)
おがた放課後チャレンジ教室	8月31日	3～6年生とその保護者(27名)
いぬかい放課後チャレンジ教室	9月28日 10月1日	1～6年生児童(43名)
大分市立中島小学校	11月3日	4～6年生とその保護者(20名)

ロ. 高等学校 ……県との共催による「巣立ち教育出前講座」(13回)

学校名	開催日	参加者
県立津久見高等学校海洋科学学校	12月3日	高校3年生(43名)
県立大分盲学校	12月12日	”(17名)
県立宇佐高等学校	29年1月12日	”(90名)
県立国東高等学校	1月24日	”(148名)、各2回
県立由布高等学校	1月25日	”(109名)
県立日出総合高等学校	2月2日	”(185名)
県立宇佐産業科学高等学校	2月3日	”(125名)
県立津久見高等学校	2月3日	”(188名)
県立中津東高等学校	2月3日	”(236名)
県立大分支援学校	2月8日	”(11名)
明星高等学校	2月10日	”(90名)
県立日田支援学校	2月23日	”(8名)

② 著名な講師を招いて行う「金融教育公開授業」の開催

金融広報中央委員会との共催により、「金融教育公開授業」を県立由布高等学校において開催。3年生情報ビジネスコースの生徒を対象とした公開授業と、ダニエル・カール氏の講演会を実施。

開催場所	開催日	講師	テーマ	参加者
県立由布高等学校	11月2日	ダニエル・カール氏	「オラの日米おもしろお金講座」	同校生徒、教員、保護者、一般約360名

③ 金銭教育研究校（臼杵市立南野津小学校）での教育実践面での支援

委嘱校名	委嘱期間	所在地	児童数
臼杵市立南野津小学校	27.4.1～29.3.31	臼杵市野津町大字西畑600番地	50名

(研究発表会の開催)

開催日	内 容	参加者
11月17日	公開授業（4年） 「がい数で計算しよう」 出前講座 「お買い物ビンゴゲーム」	県教育委員会 各教育事務所 各市町村教育委員会 臼杵市小学校関係者 金融広報アドバイザー 事務局関係者

(県・臼杵市教育委員会の指導主事等を交えた連絡会および出前講座の開催)

開催日	内 容	対 象
6月4日	・出前講座 「お買い物ビンゴゲーム」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	1～3年生児童、保護者
〃	・出前講座 「お金の使い方を考えてみよう」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	4～6年生児童、保護者
6月22日	・提案授業についての指導および助言 ・金銭教育の進め方に関する指導および助言	教職員、教育委員会、事務局
8月23日	・金銭教育研究発表会へ向けての打ち合わせ	教職員、事務局
11月1日	・金銭教育研究発表会へ向けての打ち合わせ	教職員、事務局

④「夏休み親子スクール」(委員団体との共催、協賛)の開催による、保護者への金融・金銭教育の重要性の情宣

8月2日に、みずほ銀行大分支店との共催により、同店で「夏休み親子スクール」を開催。以下のプログラムに15組38名の親子が参加。

内 容	担 当
「お金の働き、銀行の役割」について	みずほ銀行大分支店
「1億円(模型)を持ってみよう!」体験	日本銀行大分支店
「銀行員になって支店の中を探検!」体験 (金庫・ATMの裏側・支店長室見学、名刺交換、札勘体験、窓口見学)	みずほ銀行大分支店
「お買い物ビンゴゲーム」	金融広報アドバイザー

また、次の金融機関等に協賛参加し、「銀行券の引換基準の説明」、「おこづかい帳」などの刊行物の提供や「1億円の重さ体験」等を実施。

開催日	金融機関等名	イベント
8月10日	J A 玖珠九重本店	「夏休み親子スクール」
8月22日	大分信用金庫本店	「夏休み親子スクール」

⑤「作文・小論文コンクール」(金融広報中央委員会主催)への参加促進

学校訪問やチラシ・ポスターの送付等により、金融広報中央委員会が主催する「作文・小論文コンクール」への応募を積極的に奨励。

中・高校生合わせて、県内より572編の応募があり、秀作1編を含む18編が入選し、2月20日に、日本銀行大分支店において表彰式を実施。

(応募・入賞状況)

コンクール名	応募総数	県内	入賞者	
			秀作	佳作
第49回「おかねの作文」コンクール	3,392編	78編	(秀作)	
			向陽中学校2年	木谷 智哉
			(佳作)	
			向陽中学校2年	井上 流輝天
			〃	川江 優月
			〃	首藤 由楽
			〃	松本 紗和
			〃	山名 皐月
			大分県立大分豊府中学校3年	高野 萌衣
			〃	芳井 友奈
佐伯市立鶴谷中学校3年	渡辺 紗都			

コンクール名	応募総数	県内	入賞者
第14回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール	2,486 編	494 編	(佳作) 大分県立大分舞鶴高等学校 2年 阿孫 美里 〃 荒金 実里 〃 藤本 真理乃 大分東明高等学校 2年 末松 尚樹 〃 高見 徳子 大分県立大分商業高等学校 3年 秋山 琴海 〃 板井 瑠菜 〃 川本 綾香 大分県立大分豊府高等学校 3年 菅 遥加

—— 中学生・高校生の作文・小論文コンクールの入賞は、それぞれ全国で特選（5編）、秀作（5編）、佳作（50編）。

(3) 家計や消費者のニーズに応じた金融経済情報の提供に向けた取組み

① 「市民講座」の連続（5回）開催（継続して系統的に学習する機会を提供）

身近な金融経済の話題をテーマに、月1回の頻度で5回にわたって「市民講座」を開催（9月から1月までの第3木曜日）。

約50名が参加し、うち全回参加の10名に「終了証書」を授与。

開催日	テーマ	講師
9月8日	最近の金融経済情勢について	濱田 秀夫 日本銀行大分支店長
10月13日	増税・年金不安に負けない！これからのライフプラン	若松 亜希子 金融広報アドバイザー
11月10日	大丈夫？初めての住宅ローン～住宅ローンの基礎知識と無理のない返済方法～	下郡 恵美子 金融広報アドバイザー
12月8日	親の見えない子どもの世界～電子マネーの仕組みと交友関係～	瀬山 美恵 金融広報アドバイザー
29年 1月12日	最近の悪質商法について～高齢者だけじゃない！巻きこまれやすいトラブル事例～	村上 美佳子 アイネス消費生活相談員 大分県警

② 市町村への働きかけ強化による講師派遣制度の周知と、老人クラブ等の組織と連携し、高齢者向けにテーマを絞った講師派遣（「老人の生活設計」、「相続・贈与・遺言」、「悪質商法」）の実施

市町村の消費者行政担当課長・担当者会議において、当委員会の活動内容の紹介や、金融広報アドバイザー等派遣による「講習会・学習会」開催一覧を配付し、講師派遣制度の利用を積極的に慫慂。

また、大分市市民活動・消費生活センター（ライフパル）等と協力し、高齢者向け講演会に講師を派遣。

この結果、講師派遣回数は次のとおり。

講 師 派 遣 先	開催回数(前年度)	延べ参加者数
県民向け講演会	125 回 (105 回)	4,035 名
うち、高齢者向けテーマでの講演会	105 回 (56 回)	3,029 名
学習会 (金融学習グループでの講演)	14 回 (23 回)	240 名
学校への出前講座	23 回 (22 回)	1,643 名
合 計	162 回 (150 回)	5,918 名

③ 機関紙「おおいた金融広報だより」および当委員会ホームページを通じた金融関連情報やイベント開催情報のタイムリーな発信

機関紙「おおいた金融広報だより」
配 付 数： 年4回、各号3,600部
配 付 先： 県の関係機関、市町村、小・中学校、高等学校、市町村教育委員会、金融広報アドバイザー、金融学習グループほか

ホームページ	
大分県金融広報委員会 (http://www.money-oita.com) (18年1月30日開設)	28年度中アクセス件数：約43,900件 —— 月1回の頻度で更新。

(4) 組織力強化に向けた取組み

① 委員会メンバーとの情報共有

委員団体に対して、上記、「おおいた金融広報だより」(No.55号～58号)を配付したほか、「大規模講演会」、「金融教育公開授業」などのイベントの際には、チラシを送付し情報の共有と来店客等へイベントの周知を依頼。

② 金融学習グループの新規募集と積極的な活動支援

各種イベント等でのチラシの配布や、金融広報アドバイザーの講演会の際に、制度の紹介と継続的な金融学習の必要性の呼び掛けを実施。

③ 関係機関、市町村との連携強化

当委員会関係機関との会議を開催したほか、県主催会議への出席等により連携を強化。

(会議開催)

会議名	開催日	会場	内容
総会	5月18日	大分オアシスタワーホテル	平成27年度 事業報告および収入支出決算 平成28年度 事業計画案および収入支出予算案
幹事会	4月20日	日本銀行大分支店	平成27年度 事業報告・収入支出決算 平成28年度 総会資料について 平成28年度 事業計画(案)・収入支出予算(案)

会議名	開催日	会場	内容
金融広報アドバイザー等協議会	6月3日	ソレイユ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 事業報告等説明 ・平成28年度 事業計画等説明 ・新規金融広報アドバイザー委嘱状交付 ・金融学習グループ 修了報告 ・金融広報アドバイザー活動事例報告

(会議出席)

会議名(主催)	開催日	出席者
市町村消費者行政担当課長・担当者会議(県県民生活・男女共同参画課)	5月19日	県、市町村

会議名(主催)	開催日	出席者
多重債務者対策連絡会議(県県民生活・男女共同参画課)	9月29日	県、教育庁、警察本部、弁護士会、司法書士会、市長会、町村会、クレジットサラ金被害者の会、貸金業協会、大分財務事務所ほか

会議名(主催)	開催日	出席者
大分県消費者教育に関する連絡会(県県民生活・男女共同参画課)	29年 1月31日	県、大分市、教育庁、大分大学教授、小学校教諭、大分財務事務所多重債務相談窓口相談員ほか

④ 金融広報アドバイザーのスキル向上に向けた研修の充実

(県金融広報委員会主催)

名 称	開催日	テーマ・講師	参 加 者
金融広報アドバイザー等研修会 (第1回)	9月14日	「最近の金融経済情勢について」 講師：濱田 秀夫 副会長 (日本銀行大分支店長)	金融広報アドバイザー、金融学習グループリーダー、金融学習グループ所在の市町村担当者
〃 (第2回)	11月16日	「最近の信託の動向について」 講師：(一社) 信託協会 総務部次長 兼田 憲政氏	
〃 (第3回)	29年 2月24日	「大分県民の金融知識・判断力と金融教育の課題」 講師：山崎 誠久 事務局長 (日本銀行大分支店次長)	

(金融広報中央委員会主催)

名 称	開催日	内 容	参 加 者
金融広報アドバイザー研修会	10月 24・25日	・金融広報活動に関する基礎知識の習得 ・中央委員会からの情報提供 ・金融広報アドバイザー相互間および中央委員会との間での情報・意見交換 ・各地の特徴的なアドバイザー活動 ほか	金融広報アドバイザー 政丸 延子 大木 治郎

⑤ 経費執行における効率性・透明性の確保

業務委託や物品発注の際、複数社から見積りを徴求のうえ、内容等を十分に比較検討するなど、経費執行に当っては、効率性・透明性を確保した運営を継続。特に本年度開催した金銭教育研究校（臼杵市立南野津小学校）での発表会に際しては、学校側の全面的な協力の下、予算を大幅に下回る支出を実現。